



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町

志津南

NEWS

志津南ホームページ  
http://waka-kusa.net/

発行  
志津南地区自治連合会

連絡先  
志津南市民センター (563-6206)

### 「ふれあいハウス 絆」がオープン



テープカットする山岡副市長ら関係者

## 相談ごとや交流の場に 第六集会所を一部手直し

ウス(若草第六集会所)に移動、サークルGSOの音楽が演奏される中、高齢者代表の奥田夫妻らがテープカット、一般に開放され記念行事が行われました。

会場には、地域の高齢者から子どもまで多くの方が参加、1階のふれあい喫茶で、シオラマに見とれたり、暖かいせんざいやコーヒーを楽しみながら談笑していました。

入りきれない参加者は、春を思わせる晴天の下、ウッドデッキや隣接の遊園地でハウスの開所を祝っていました。

また2階のキッズコーナーでは、バルンアートや紙芝居、模型電車などが子どもたちの人気

を集めていました。その片隅に置かれたマッサージュチェアでは高齢者の方がリラクゼーションしながら子どもたちの様子をにこやかに眺めていました。

参加者から「このようなふれあいの場所を長く待ち望んでいた。できることで活動に参加する」との申し出もありました。

事務所にはインターネットおよびホットライン電話を設置し、高齢者・障害者支援活動(困りごと相談受け付け、病院などへの送迎、蛍光灯などの交換、庭の簡単な手入れ)なども行っています。2階には麻雀コーナーもあります。住民同士支えあいの拠点として、さらに活動を充実するよう努めていきます。

社協ではまた、活動に協力して頂けるスタッフを常時募集しています。一人でも多くの参加をお待ちしています。(社協)

### ふれあいハウス概要

▽ホットライン 週6日間、専用のホットラインで日常生活の困りごとの相談を受け付けます。小さな電球交換から迷惑な訪問販売まで扱います。

▽ふれあい喫茶室 週6日間開店し、コーヒー、紅茶を提供します。代金は100円です。

▽多世代交流広場 子ども向けのおもちゃ、絵本、書籍をそろえ親子と高齢者、住民のふれあいを促進します。高性能マッサージ機も設置しています。

▽麻雀室 全自動麻雀卓を2台設置、女性向けの麻雀教室などを開催していきます。

### スタッフ募集

- ①生活困りごと支援スタッフ 10人程度
- ②設備のメンテナンススタッフ 3~5人
- ③住民の情報化支援PCサポート 1~5人程度
- ④垣根と庭木剪定、花壇整備スタッフ 10人程度
- ⑤高齢者日常生活支援スタッフ 各町3人程度
- ⑥送り、買い物支援スタッフ 10人程度
- ⑦ふれあい喫茶室スタッフ 10人程度
- ⑧食品衛生責任者 1人

志津南地区社会福祉協議会(小野栄祐会長)が進めてきた「ふれあいハウス 絆」が完成、2月5日午前、志津南市民センターで開所式が行われました。式には山岡副市長(市長代理)、清水和廣草津市社会福祉協議会会長ら約100人が出席。山岡副市長は「ふれあいハウスを拠点に住民の絆が深まることを願っています」祝辞を述べました。

午後には、公務を終えた橋川草津市長も、ハウスへお祝いに駆けつけて下さいました。



列を作って入場を待つ参加者



ぜんざい、コーヒーを楽しみながら談笑するお年寄りら

センターで式典を終えたあと、参加者全員は「ふれあいハ

### 学習懇談報告会と人権講座開く

志津南地区同和教育推進協議会と志津南市民センター（公民館）合同の各町内学習懇談会報告会と人権講座が1月21日に開

催されました。

各町内会から10月に行われた学習懇談会の内容が報告されたのち、人権コンサートで「ぼほ」(藤野利也代表)のお話と演奏を通して楽しく学びました。

「ぼほ」は「感じてくたさい、差別をなくすために」をテーマにした演奏活動を県内で展開し



「ぼほ」の演奏と話しを傾ける参加者

正月の飾りつけなどを左義長に投げ入れる参加者



### 一年の無事願い左義長

志津南地区自治連合会は1月15日午前、若草中央児童公園で新年恒例の左義長を行いました。

当日は曇り空でしたが時々日がさす、風もあまり強くない左義長日和となりました。

左義長は自治連合会の今年度最後の行事であり、飛鳥都市開発、若寿会、子ども会の協力を得て準備を進め、当日は各町内会の副会長さんをはじめ各役員の方々にも参加していただきました。

おかげで参加者は250人を超え、それぞれがお正月の飾りつけやお札、破魔矢、子どもたちの書き初めなどを炎の中に投げ込み、この1年の無事を祈りました。

会場では、子ども会が昆布茶、ホットカルピスをサービス、寒い中、参加した大人からも好評で、子どもにはお菓子の詰め合わせが配られました。

また自治連合会からはお酒も振る舞われ、左義長の火で暖を取りながら新年のあいさつを交わすなど和やかなひとときをすごしました。

左義長は地域に根ざした新年の行事として、また、住民のふれ合う場としてこれからも引き続き開催していきたいと思っておりますので、多数の参加をお願いします。

ご協力いただいたみなさんありがとうございました。

(自治連左義長実行委員会)

ています。全てオリジナル曲で会話や歌詞の中に、「みんなが幸せになる様に、ともに手をつないで歩いていきたい」という思いが込められており、私たちの人権意識を再認識させられる場面がありました。

あらゆる差別をなくし、人権が守られる社会を築くために、日々の生活の中で一人ひとりの認識と実践がどれだけ大切かを再確認することができました。



やすらぎ学級で人権講座  
やすらぎ学級第8回講座が1月25日、志津南市民センターで行われ、学級生32人が参加しました。  
今回は人権講座として「笛と

ともに心の温もりを伝えたい」と題し、「デュオEです」メンバーのお話と笛やギター演奏で楽しく学びました。写真。

「デュオEです」は、地域在住でギター担当の村井教夫さんと野洲市在住で「滋賀の笛吹き

おじさん」としても活動している目の不自由な坂井孝之さんのデュオで、小学校や地域の講座など多方面で活躍しています。

オカリナやケーナ、木管のフルート、よし笛など様々な笛とギターの演奏を交えながら、坂井さん

志津南地区子ども会は1月15日、野村運動公園で行われた「くさつ子どもフェスタ2012」のお餅つきに参加しました。写真。

くさつ子どもフェスタは多数の団体が運営され、今年で11回目、毎年恒例となった冬のイベントです。

自身の経験として「目が見えなくても工夫された物を使って生活し、色などの感覚がなくても周りの人たちと良い関係を作っていれば楽しく過ごせる」などと話しました。後半はギターや笛の演奏に合わせてみんなで合唱、心癒されるひと時を過ごしました。

子ども会が草津市フェスタに参加



草津市子ども会ではお餅つきを担当し、他の学区の子ども会の方と一緒に90分もち米をつき、つきあがったお餅をきなこ餅やあん餅にしました。お餅を入れる器はゴミを出さないよう環境に配慮して、参加される方に持参していただき、器のない方には紙で折った簡単な入れ物で配っています。参加した皆さんから「おいしい!」と喜んでいただくことができました。

(子ども会)

# こよみ

- 2月18日(土)
    - ★わんぱくプラザ南っ子餅つき大会  
10:00～12:00
    - ☆健康ウォーキング  
8:45 若草中央公園集合
  - 2月19日(日)
    - ★草津市長選挙投票日  
7:00～20:00
  - 2月22日(水)
    - ★やすらぎ学級  
13:30～17:00
  - 2月25日(土)
    - ☆社会奉仕  
8:45 若草中央公園集合
    - ★つどい推進事業「福祉講座」  
13:00～14:00
  - 2月26日(日)
    - ★ふれあいコンサート  
10:00～12:00 社協
  - 2月28日(火)
    - ★地域サロン：懐メロを歌う会  
10:00～11:30
  - 3月1日(木)
    - ★親子ふれあい広場(民児協)  
10:00～12:00
  - 3月2日(金)
    - ★ふれあい昼食会  
12:00～13:00
    - ボランティア「泉」
  - 3月3日(土)
    - ☆健康ウォーキング  
8:45 若草中央公園集合
  - 3月7日(水)
    - ★税の申告相談日  
10:00～15:00 市税務課
  - 3月13日(火)
    - ★地域サロン：懐メロを歌う会  
10:00～11:30
  - 3月14日(水)
    - ☆やすらぎ学級閉講式(館外)  
13:30～17:00
  - 毎週金曜日
    - ☆ふれあい喫茶(お茶の間)  
10:00～12:00  
若草第五集会所
- ★印の場所は志津南市民センター(公民館)です

新調理室で食事の支度をする泉のメンバー



11月から始まった志津南市民センターフレッシュ工場のうち、調理室部分が完成、2月3日、さっそくボランティア泉のメンバーが高齢者のふれあい昼食会でこけら落としをしました。新しくなった調理室は、落ち着いた薄ピンク色の滑りにくい

## センターの新調理室完成

フロアに、オールステンレス製で機能も充実した調理台5台(うち1台は、車いす利用者用)が設置されています。また、まな板や包丁などを収納する殺菌庫も設置され衛生面も万全です。さらに空調設備が新たに設置されたため、快適に調理することが出来ます。

調理室工事中、調理室の備品、什器等を保管していたため、使用できなかった多目的室は、同日から使用が始まりました。

## 中央公園の新遊具完成

若草中央児童公園の遊具が生まれ変わりました。今までの遊具が老朽化して危険な状態になったため取り壊して、7種類の候補の中から子どもたちの

新しく整備される中央公園の遊具設備



8割の支持を得た新しい遊具を設置しました。同時に砂場も新しく整備、犬や猫が侵入しないように柵も設けられています。

さらに、屋外健康器具も設置されました。下半身のストレッチ用の「マルチアスレチックベンチ」です。両脇のグリップを握りながら、下半身をひねる運動ができるようになっています。子どもたちのにぎやかな歓声や

お年寄りの力むろめき声で大いにぎわうことを期待しています。

## ふれあいサロン「お茶の間」が誕生会

地域のふれあいサロン「お茶の間」は12月16日、第7回誕生会を若草第五集会所で開催、10月12月生まれの20人を祝いました。

まず、全員で村井教夫さん(3丁目)のギター伴奏に合わせハッピーバースディを唱和、ささやかなプレゼントを手渡ししました。そしてケーキを食べながら和やかに歓談しました。

今回は、山田学区民生委員・児童委員さん9人によるハンドベル演奏と紙芝居を楽しみました。演奏は「ふるさと」「上を向いて歩こう」、クリスマスソングなど、透き通った音色を染みしました。最後は「琵琶湖周

航歌」を全員で合唱。音楽のあとは紙芝居。「やさしいのおなか」という題で拡大された野菜の切り口図から野菜を当てるクイズで「なるほど」「わかった」「やっぱり」「へえ」と

当たるとびに歓声が上がっていました。かわいいサンタの帽子を被った幼児たちから総勢50余人が祝福、サロンを盛り上げました。



誕生日のもてなしを受けるお年寄りたち

## 総会日程決まる

自治連および各町内会の総会日程が次の通り決まりました。また、自治連総会後、まちづくり協議会設立総会が開催されます。会場はいずれも志津南市民センター(公民館)です。

- 3月17日(土)
  - 若草1丁目 9時から
  - 若草2丁目 10時30分から
  - 若草3丁目 12時30分から
  - 若草4丁目 14時から
  - 若草5丁目 15時30分から
- 3月18日(日)
  - 若草6丁目 9時から
  - 若草7丁目 11時から
  - 若草8丁目 13時から
  - 岡本町西 14時30分から
- 3月25日(日)
  - 自治連合会 10時から
  - まちづくり協議会 11時から

※受付はいずれも開始の20分前です。詳しくは3月中旬配布予定の総会案内をご覧ください。

した。今回は3月第3金曜日10時から1～3月生まれの方をお祝いします。

「お茶の間」は毎週金曜日10時から正午まで若草第五集会所で開催しています。参加費は100円(コーヒードリンク、紅茶、お菓子つき)です。地域の皆さんの来訪をお待ちしています。



# まちかど アングル

そこかしこに自然が残るわが町だが、人跡未踏とまでは言わないまでも、住民が立ち入れない「秘境」がある。「この奥はいいだろう」と

## 秘境

「透かし見ても目に入るのはうっそうと生い茂る樹木ばかり。開発当初にはマツタケも出たそうだが、今では確かめようもない。それよりも、世界自然遺産の白山山地もかくや、と想像する方が楽しいかも。」



## 若寿会が新年懇親会

志津南老人クラブ・若寿会(奥田隆三会長)は1月7日、志津南市民センターで恒例の新年懇親会を開催しました。写真。小寒に入り寒さ厳しい日でしたが、会員35人が元気に参加しました。年頭にあたり「私たちの若寿会は先輩の皆さんの努力と、地域の皆さんに支えられ、創立26

年の伝統ある若寿会を迎えることができました。これからも一日、一日を大切に元気で楽しく、会員みんなで絆を深め、伝統ある若寿会を守っていきましょう」と話していました。  
このあと懇親会に移り、今年も村井教夫さん(若草三丁目)のギターを伴奏に12曲の懐メロをみんなで元気に歌いました。最後に、三人一組になって団

体ビンゴゲームを行い、それぞれ賞品を手にし、盛況のうちに新年懇親会を終えました。

## 3月7日に税の申告相談

草津市・滋賀県民税の申告、所得税の申告(確定申告)などの申告相談が3月7日、志津南市民センター(公民館)会議室で行われます。受け付けは午前10時~午後1時です。ご利用ください。

詳しくは、広報くさつ2月1日号をご覧ください。

## 原発事故で講演会

志津南市民センターは次の要領で「放射能が人体に与える影響」をテーマに環境講座として講演会を開催します。

東日本大震災で東電の福島原子力発電所がメルトダウンに陥り、拡散された放射能の影響が心配され、風評被害などが起こっています。放射能の影響と報道についての正しい理解をしていただくための講座です。

▽日時 3月10日(土)午後1時30分~3時30分

▽講師 藤田学園保健衛生大学 名誉教授 前田 壽登氏

▽場所 志津南市民センター

▽参加費 無料  
お誘い合わせの上、御来場下さい。



## 折々の記

が、なんとか理解しよう！理解したい！という気持ちだけで国境の壁をクリア。「自分自身」も成長していると感じられた3ヶ月！国境など関係ないと心から実感した。

ここで過ごした思い出は、語り出すときがない。カナダでの思い出や出会えた人たちの優しさが大きすぎた分、最後は感極まって、号泣してしまっ

短期間ではあったが、さまざまな国の人と出会ったことによって、今までになかった考え方にふれたり、厳しい現実を学ぶ機会も得た。そんなことを通して自分を見直すきっかけや、自分と向き合うこともできた。

それまでは自身の伴わない自分に戸惑いつつも、気が付かないふりをしている自分がい

## カナダ留学

れるというハブニクに見舞われたものの、日に日も慣れ、新しい友達も増え、学校、テスト、旅行、食事会、ハロウィン、クリスマス、年越し。本当に充実した、そしてかけがえのない日々を過ごすことができた。

カナダで出会った友人の国籍は韓国、スイス、台湾、サウジアラビア、メキシコ、ブラジル...とさまざまで、育った環境も習慣も異なる。もちろん共通語は片言の英語。なかなか伝えたいことが通じないこともあった

今回の留学を「カナダに行ってきた」と終わらせてしま

(大学生 H・H)